

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		子どもショートステイ事業費 [子どもショートステイ事業]										
予算科目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	4	子育て支援費	事業番号	5	
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	子育て支援 課 子ども家庭支援センター 係					課長名	新海 隆弘					
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 4			
【施策名】 児童福祉の推進								総合計画書(ページ)	59			
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	入院・親族の介護・冠婚葬祭に出席する等の理由で、一時的に養育が困難になった児童(満2歳～12歳)。					→ 2歳から12歳までの児童人口(平成30年4月1日現在)						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	児童の通学等日常家庭生活を維持しながら安心して預けられ、その間で保護者が抱える生活課題を解消する。					→ 利用泊数						
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	市内4件の養育協力家庭との委託契約事務をはじめ、利用申請・決定や保護者負担金収納、養育協力家庭への委託料支払事務を行う他、養育協力家庭を紹介し面接を設定する。事業については、市報、ホームページ、ハンドブック等で周知している。					→ 利用世帯数						
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標				
	対象指標	①の数値	人	8,340	8,253	4,033						
	成果指標	②の数値	人	0.0	18.0	8.0						
	目 標	②の目標値		目標値設定の考え方 東大和市子ども・子育て支援事業計画、国交付金及び都補助金要綱								
3 経費	活動指標	③の数値	人	0	4	1						
	事業費(実績)		円	28,040	263,040	133,040	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円	0	0	0						
		特定財源	円	28,040	227,040	117,040						
		(うち受益者負担)	円	0	36,000	16,000						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1						
		所要人数(再任用)	人									
		職員人件費(再任用以外)	円	825,300	824,400	831,000						
職員人件費(再任用)		円										
事業費+人件費		円	853,340	1,087,440	964,040							
4 環境変化等	(1) 開始年度		25 年度									
	(2) 環境の変化		平成25年5月、子育て支援サービスの充実を図るため、緊急時対策事業として開始し、現在に至る。									

事業名称	子どもショートステイ事業費 [子どもショートステイ事業]		
担当部署・課長名	子育て支援	課 子ども家庭支援センター 係	課長名 新海 隆弘

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 利用希望があるにもかかわらず、利用できない事案はこれまでに発生していないが、市内の児童養護施設を活用したショートステイの確保も必要ではないかといったご意見がある。		
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）		
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点		
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 市内における新たな「養育協力家庭」を発掘していく必要がある。このため、本事業の社会的重要性及び価値について啓発活動に努めていく。		
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。		
	平成31年度も養育協力家庭4か所と契約を締結することができたが新たな発掘には至らなかった。また、新たな委託先として、市内の児童養護施設を活用したショートステイの検討を試みるが実現には至らなかった。		
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 引き続き養育協力家庭の確保に努めるとともに、今後、市内の児童養護施設を活用したショートステイの検討が必要である。		
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 児童福祉の推進 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）		
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☒ 拡大 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 引き続き養育協力家庭の確保に努めるとともに、今後、市内の児童養護施設を活用したショートステイの検討が必要である。		
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等		
	全国展開する「11月の児童虐待対策キャンペーン」に合わせ、ポスター掲示やチラシ配布等の普及啓発を図り、協力を求めている。また、養育協力家庭の負担軽減を図るために、施設支援を受託する法人との契約を進めることにより、家庭及び施設の両面支援体制を確立する。		